

各 位

2022年6月15日  
株式会社リットーミュージック

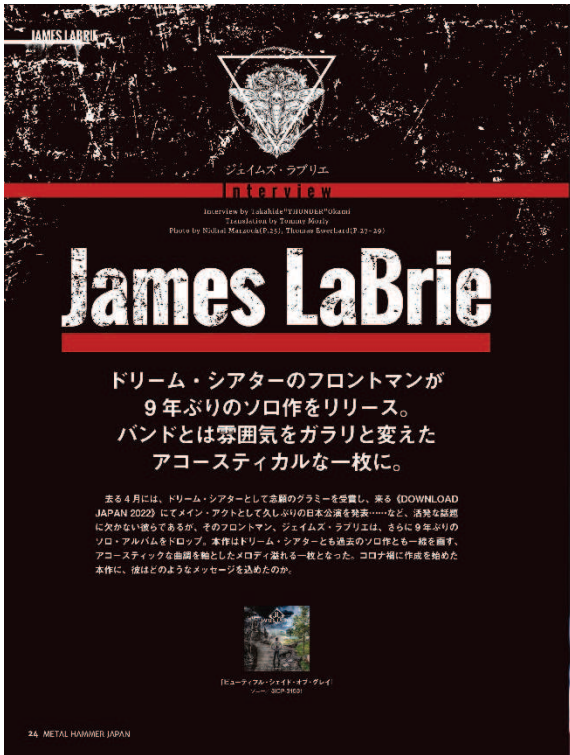
悪魔の最新音源が発売決定！  
聖飢魔II 23年ぶりとなる書き下ろしオリジナル大教典が発布！



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『METAL HAMMER JAPAN Vol.10』を、2022年6月15日に発売します。



JAMES LABRIE




ジェイムズ・ラブリエ  
interview

Interview by Ichikida "FIBRINE" Takashi  
Translation by Tommy Maty  
Photo by Michal Malanek (P.25), Thomas Ewell (P.27-29)

# James LaBrie

ドリーム・シアターのフロントマンが  
9年ぶりのソロ作をリリース。  
バンドとは雰囲気をガラリと変えた  
アコースティカルな一枚に。

去る4月には、ドリーム・シアターとして最優秀のグラミーを受賞し、去る(DOWNLOAD JAPAN 2022)にてメイン・アクトとして久しぶりの日本公演を発表……など、活発な音楽に欠かぬ存在感があるが、そのフロントマン、ジェイムズ・ラブリエは、さらに9年ぶりのソロ・アルバムをドロップ。本作はドリーム・シアターとも過去のソロ作とも一線を画す、アコースティックな曲調を軸としたメロディ溢れる一枚となった。コロナ禍に作成を始めた本作に、彼はどのようなメッセージを込めたのか。



『The Heart of a Fool』(ライオン・ミュージック)

24 METAL HAMMER JAPAN



MEGADETH

The Documentory



# SURVIVAL INSTINCTS

【破滅へのカウントダウン】に刻まれた“生存への本能”

新神の叫びを世界に投入、これまでに発表した15枚ものスタジオアルバムのどれもで最高水準のスラッシュ・ミュージックを創りだしているメガデスだが、やはり最も有名な、そして人々の愛い作品と言えは、1982年にドロップされた破滅へのカウントダウン たろう、1980年代末代末のアルバムであるが、本作があるからこそ、メガデスは生きてきた。そして新しいスラッシュをプレイし続けている。本作は、リリースから30年が経った今、新しいメガデスの歴史とともに、破滅へのカウントダウンを取り戻した状況を見つめてみたい。

30 METAL HAMMER JAPAN







NEW  
NOISE  
DELUXE

THESE INTO CHAOS

2022.04.19 (水) 19:00  
TBS「MUSIC」

BROKEN BY THE SCREAM

# 4人組アイドルによる エクストリーム・ラウド・サウンド!

# BROKEN BY THE SCREAM

本誌读者のなかに、彼女たち「THESE INTO CHAOS」(以下、TIC)を知っている人はいるだろうか。2021年10月にリリースした2枚目のアルバム「NOISE」を混合したエクストリーム・ラウド・サウンドを特徴とする、真影の4人組だ。

近年は「真影」を武器に大会場をフルハウスにする女性グループも少なくないが、彼女たちはそこに輪をかけて過激なサウンドを聴かせる。まさに「ラウド系」のアイドルなのだ。そんなTICは、来る7月にリリースする3rdアルバム「RISE INTO CHAOS」にて、いよいよ大きく羽ばたこうとしている。

ある意味「真影」として見られがちなスタイルではあるが、メタルシーンにおいては、のちの大事も当初は真影として扱われていたり、しはしは信儀の太鼓が記されるもの。常に過激かつ衝動的な音楽を探しているアンテナの高いラウド・ミュージック・ファン層は、ぜひ本インタビューとともに、彼女たちの映像・音楽に耽ってみたい。好きか嫌いかを判断するのはそのあとだ。

104 METAL HAMMER JAPAN

METAL HAMMER JAPAN 105



## ■書誌情報

書名：METAL HAMMER JAPAN Vol.10

定価：本体 1,600 円 + 税

発売：2022 年 6 月 15 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/magazine/detail/3122238001/>

## CONTENTS

### ●聖飢魔 II

魔暦 22 年（2020 年）に地球デビュー 35 年を迎え、当コロナ禍においても精力的な期間限定再集結活動を行なっている聖飢魔 II。本邦にヘヴィメタルを根付かせたとも言える悪魔たちが、なんと本年、23 年ぶりに“書き下ろし”となるオリジナル大教典をリリースすることとなった！

8 月にカセット・テープとして先行発布され、その後 9 月に改めて CD としてドロップされる本作。しかし、今はまだ新曲の概要は発表されていない。そこで METAL HAMMER JAPAN はデーモン閣下のもとへ赴き、どこよりも早く、その内容について聞いてきたのだった。

インタビューでは、昨年約 3 ヶ月にわたり行なわれた《ビデオ黒ミサ・ツアー》について、コロナ禍での音楽制作について、そして鋭意制作中だという大教典についてじっくりと語ってくれた閣下。迫力 & 威厳に充ちた貴重な撮り下ろし写真も必見だ！

特集後半ではルーク篁参謀、ジェイル大橋代官も登場！ 両名とも自身が関わる楽曲について語ってくれているので、こちらも見逃すわけにはいかない。もう数ヵ月先となる最新大教典まで、本インタビューを読んでワクワク & ゾクゾクしていただきたい！

□スペシャル付録：デーモン閣下オリジナル両面ポスター

\*\*

### ●メガデス

新譜リリース間近！……と噂が聞こえてくるメガデス。彼らの“最高位チャート作品”と言えば、30年前の1992年にリリースされた『破滅へのカウントダウン』だ。ライブでは今も重要な位置でプレイされる本作楽曲群であるが、同作制作時の心情を、デイヴ・ムステインを始めとしたメンバー、関係者、影響を受けたミュージシャンが振り返る。

\*\*

### ●ジェイムズ・ラブリエ

この夏、ついに海外ミュージシャンが集結するラウド系フェス《DOWNLOAD JAPAN 2022》が開催！ そのヘッドライナーを務めるのがドリーム・シアターだ。先にはグラミーも受賞した彼らだが、そのシンガーであるジェイムズ・ラブリエはソロ・アルバムもリリースとエネルギー満タン。同ソロ作についてはもちろん、グラミー、そして久しぶりの日本公演に向けていろいろと話してくれたぞ。

\*\*

### ●アウトレイジ

今年デビュー35周年を迎え、“オリジナル・ストーリー映画”、“オーケストラとの共演”と、これまでにない試みを見せたアウトレイジを二大特集でピックアップ！ 前半は＜メンバー×俳優×監督×漫画家＞での座談会で、映画を主軸にメタル、青春、そして名古屋について語り明かす！ 後半は共演ライブでのオーケストラを指揮した柴田祥氏に、クラシック側からの見解を聞く。

\*\*

### ●メシュガー×マシーン・ヘッド

ミュージシャン自身がインタビュアーとなり、交流のあるミュージシャンから話を聞く本企画。まずはマシーン・ヘッドのロブ・フリンが、若き時代にツアーのサポートを務めたメシュガーのマルテン・ハグストロムとトーク・セッション。バンド加入から一緒に回ったツアーまで、旧知の仲だからこそ語り合える話題は興味深いものばかり！

\*\*



## ●キルスウィッチ・エンゲイジ×エンプロイド・トゥ・サーヴ

続いての“ミュージシャンによるミュージシャンへのインタビュー”は、メタルコアの王者キルスウィッチ・エンゲイジのジェシー・リーチとアダム・デュトキエヴィッチに、彼らから多大なる影響を受けたエンプロイド・トゥ・サーヴのシンガー、ジャスティーン・ジョーンズが突撃！KSEの活躍をリアルタイムで体感してきた彼女ならではの質問が、ふたりの本音をグイグイと引き出す！

＊ ＊

## ●ホワイル・シー・スリープス

ミュージシャンそれぞれが持つ“ヘヴィ・サウンドに対する考え方”を聞いていく当連載。今回はパンク・ロックをルーツにしつつ、今やアリーナ級のバンドにまで上り詰めたメタルコア・バンド、ホワイル・シー・スリープスだ。バンドの音楽的中心人物であるショーン・ロングが、強烈な音作りの要となるシャーベル製シグネイチャー・ギターに込めたこだわりとは？

＊ ＊

## ●緊急アンケート企画

ヘヴィ＆ラウド系ミュージシャンに聞く コロナ禍での音楽活動とはどういったものだったのか？

ワクチンの普及も進み、徐々に日常へと戻り始めた日本。ライブの開催も増え、以前のような活気を取り戻しつつあるミュージック・シーンではあるが、そんな今日まで、ミュージシャンたちはどのような想いでコロナ禍での音楽活動を行なってきたのだろうか？ ラウド＆ヘヴィ系ミュージシャンに、それぞれの考えを聞く。

[ラウドネス／アウトレイジ／筋肉少女帯／人間椅子／陰陽座／Crossfaith／BAND-MAID／ガールネリウス／NEMOPHILA／Damian Hamada's Creatures／FATE GEAR／NOCTURNAL BLOODLUST]

＊ ＊

## ●特集①

The Devil Lurks in Music ヘヴィメタルに潜む悪魔の囁き

ヘヴィメタル各スタイルにおいて欠かせないキーワード、それは“悪魔”だ。特に本場である欧米のバンドは、パワー・メタルからブラック・メタルに至るまで、サブ・ジャンルを問わずさまざまな形で悪魔が登場する。そしてその立ち位置は、本邦の感覚とはまた異なるものである。本

特集では、音楽と悪魔の関係をルーツをさかのぼりながら見ていきたい。キミのなかの悪魔が目覚める！

＊ ＊

## ●特集②

アナログ派？ デジタル派？ メタルはどのメディアで聴くべきなのか！？

聖飢魔IIの最新大教典の形態のひとつにカセット・テープが採用されたように、現在はアナログ～デジタルと、音楽を聴くためのメディアはさまざま。では、新旧のメタルならば、どのフォーマットで楽しむのがお薦めなのか？ <レコード／カセット・テープ／CD／デジタル配信>それぞれの特徴を改めて知っていくことで、今後のリスニング・ライフはもっと充実したもになるはず☆

＊ ＊

## ●ブラック・サバス

オリジナル・ドラマー、ビル・ワードが登場！ 幼少期に得た自衛術からドラムについて、サバス加入後の生活や脱退、そして再び手を取り合った日のことまで……長いキャリアのなかで身を持って体験してきた人生の教訓を教えてくれる。

＊ ＊

## ●フォジー

日米を股にかけ活躍するプロレス界のスーパースター、クリス・ジェリコ。彼のもうひとつの顔が、メタル・バンド、フォジーのフロントマンである。必殺技にハロウィンの作品名をつけるなど、昔からメタル愛溢れる彼が、ビッグ4からド派手な衣装、マレット・ヘアまで、リスナーからの質問と真っ向勝負！

＊ ＊

## ●Broken By The Scream

今、ライブハウスで怒涛のエクストリーム・ソングを武器に暴れている4人組女性アイドルBroken By The Screamを知っているだろうか！？ デス・ヴォイスとクリーン・ヴォイスを織り交ぜた過激かつキラキラの楽曲を聴かせる彼女たちは、一体どのようなグループなのか？ 個人&全員インタビューで、その素顔に迫る。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 Rittor Base」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、Tシャツのオンデマンド販売サイト『TOD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: [pr@rittor-music.co.jp](mailto:pr@rittor-music.co.jp)